

福祉サービス第三者評価

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：認可保育園 ARINKOMURA		種別：認可保育園	
代表者氏名：柏木玲一		定員（利用人数）： 102 名	
所在地：本園：茨城県那珂市竹ノ内3丁目3番地1 分園：茨城県那珂市竹ノ内3丁目2番地3			
TEL：029 229 2252		ホームページ：http://arinkomura.com	
【施設・事業所の概要】			
開設年月日 2020年4月1日			
経営法人・設置法人（法人名等）：医療法人社団どんぐり会			
職員数	常勤職員： 保育士 11 名	非常勤職員： 保育士 13 名	
専門職員	（専門職の名称）	調理師 2 名	
		調理補助 2 名	
		看護師 1 名	
施設・設備の概要	（居室数）	本園保育室 4 室	（設備等）
		分園保育室 3 室	

③ 理念・基本方針

<基本理念><運営方針、目標>

医療法人社団どんぐり会は、子ども達を、地域の皆さまとともに見守り育み、そして一緒に育ち成熟することを通して、子ども達の笑顔と健康を守るお手伝いをすることを理念として、診療所での小児医療・保健サービスの提供と、病児保育施設による病児保育事業を展開しています。ARINKOMURAは2011年2月に認可外保育施設として開設して以来「子どもの“こころ”と“からだ”を大切に、子ども達の未来をはぐくむ」ことを理念に掲げて保育事業を展開して参りました。2020年4月に医療法人社団どんぐり会のもとで認可保育園に移行した後もARINKOMURAは引き続きこの理念を掲げ、**保育と小児医療がより直接的に、より密接に連携共働することで、子ども達がより安心で安全で、より健康的で、より良い保育のあり方を地域にご提案することを目指しています。**

<運営方針、目標>

私たち医療法人社団どんぐり会は、「こども支援」の保育を行います。子ども達の命を育み、健やかな育ちを保障し、明日の笑顔を守り貫くために、今、私たちができることを成し、するべきことを実践する。それが医療法人社団どんぐり会が大切にしている想いです。包括的かつ究極の「こども支援」の結果として、保護者の就労支援があり、そして地域経済の安定と発展、地域の活性化、次世代へと続く輝ける道があると信じます。

私たちは、保育学・保健福祉学・発達心理学・教育学・看護学・医学等、**科学的根拠に基づく保育の実践**を常に心掛けます。小児保健医療領域のトピックスを最大限活用して、子どもの健康と安心安全を担保するとともに、診療や保育の場では、常に、子どもを通して家庭を診て、家庭を通して地域を見て、地域を通して時代を視続けます。

私たちは、常に時代と地域のニーズに耳を傾け、子ども達の声なき声を聴き、それを代弁する。**アボドカシー**こそが私たち医療法人社団どんぐり会の社会的使命であると自覚して、保育・医療にあたります。

近年、保育の現場にも学びの役割が期待されています。私たち医療法人社団どんぐり会は、就学前教育で行なうべきことは、単なる小学校の先取り教育ではないと考えています。よって、保育カリキュラムのなかで、系統立ててひらがなや数字やアルファベットや計算を教えるプログラムは実施していません。**未就学期の子ども達にはこども時代を成熟して欲しい**・・・(「子供のなかで、幼年期を成熟させなさい。」ジャン＝ジャック・ルソー「エミール」戸部松実訳 中央公論社)。そのためにも ARINKOMURA では幼児期に大切な「生きる力」を子ども達自身が見出し糧とすることに配慮した保育の環境と活動を提供します。また、日々の保育を通して、「座って」「人の話が聞けて」「自分の気持ちを相手に伝えられる」**子どもを育てることを目指しています**。私たちは、これが現代の本邦における学びの第一歩だと考えています。

他方、お勉強に対する保護者の方のご要望もあります。これに対しては就学前教育カリキュラムとして、MANABIYA の時間で幼児教育プログラムを実施し、保護者の方のニーズに対応しています。ここでの学びは、就学後も MANABIYA の学習塾部門で継続的に発展深化をはかることができるカリキュラムとなっています。

就学前の子ども達が求められる「学び」は多様で、時代や社会や、あるいはご家庭や保護者の方の価値観によって様々に変化します。私たちは時代や社会の要請を踏まえつつ、子ども達のニーズをしっかりと見極めて、これからも就学前の子ども達に**「生きる力」をつける最適な「真の学び」の場**を提供して参ります。

私たち医療法人社団どんぐり会は、保育と小児医療の連携共働により、子ども達に安心・安全・健康な暮らしを提供するとともに、時代のニーズに適合したより良い「こども支援」の保育のあり方を地域にご提案できることを目指します。

④施設・事業所の特徴的な取組

私たち医療法人社団どんぐり会 那珂キッズクリニック小児科は、那珂市内唯一の小児科専門医療機関として、2008年2月から子ども達の医療保健水準の向上を目指して活動してきました。

そのなかでも ARINKOMURA は、「子どもの“こころ”と“からだ”を大切に、子ども達の未来をはぐくむ」ことをめざして、小児医療保健の側からみた保育現場の諸問題を解決することを目標の1つに掲げて、2011年12月から、当初は私立の認可外保育施設として事業をはじめ、2020年4月から医療法人社団どんぐり会が運営する「認可保育園 ARINKOMURA」となりました。

「認可保育園 ARINKOMURA」「那珂キッズクリニック小児科」「病児の保育“しろやぎさんのポシット”」の3事業を一体として運営することで、保育と小児医療が密接に連携協働することにより、子ども達にとってより安心で安全で、より健康的で、より良い保育のあり方を地域に提案することを目指しています。また、隣接する那珂キッズクリニック小児科と連携

して内臓疾患等の基礎疾患を有する子どもの保育が可能です。現在も糖尿病や重症心疾患など、他の認可保育園で保育が困難な内科的基礎疾患を有する複数の児の保育をおこなっています。3事業の協働により、昨今、整備の必要性が議論されている経管栄養や胃瘻や在宅酸素等の医療的ケアを必要とするお子さんの保育についても受け入れ可能な設備とノウハウを有しているのも大きな特徴のひとつです。さらには、定員12名の医療機関併設型病児保育施設である「病児の保育“しろやぎさんのポシェット”」が併設されているために、急な発熱や怪我など保育園をお休みしなくてはならない場合でも看護師と病児保育専門士による適切な病児保育により保育が継続できる体制が整備されています。「病児の保育“しろやぎさんのポシェット”」と連携して市内の保育施設等への感染症流行情報の提供や、感染症アウトブレイク時の訪問指導等を行ない、地域の保育の安全と安心の向上に向けて活動していることも特徴のひとつです。

さらには、「認可保育園 ARINKOMURA」は、地域が東日本大震災級の大災害に見舞われた際には子ども達の避難センターとしての機能を発揮します。粉ミルクや紙おむつの備蓄の他、衛星携帯電話や災害時簡易浄水器等を完備し、隣接するクリニックでは小児用医薬品の備蓄も有しています。

私たちは、21世紀の認可保育園における子ども達の健やかな育ちには、医療と保育の一体的な事業運営が必要だと考えています。上記のように、3事業の協働により、多面的に「こども支援」の活動を行っていくことが「認可保育園 ARINKOMURA」の特徴です。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年5月13日（契約日）～ 令和3年10月31日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初 回

⑥総評

◇特に評価の高い点

安心・安全・健康な暮らしと支援の提供に力を入れている

園は「医療法人社団 どんぐり会」の一員として「子ども支援」の保育を行っている。小児医療と密接に連携しながら、医療と保育の一体的な事業運営に取り組んでいる。また、単なる小学校の先取り教育ではなく、独自の教育・保育カリキュラムを実践し「真の学び」の場を提供している。保育と小児医療の連携共働により、子ども達に安心・安全・健康な暮らしと子ども支援の保育を提供している。

保育の中に「生きる力」をつけることを学べる各種環境を取り入れている

子どもの「こころ」と「からだ」を育て、生きる力を育てることを目標に、年長児を対象に主に外部講師による、剣道・Let'sの時間（外国語）・茶道・書道・音楽・はかせの時間を、それぞれ月1回実施している。これらの特別活動は、未就学期の子どもには子ども時代を成就してもらうために、「生きる力」をつけることを学べる各種環境として位置付けている。幼児期に大切だとされるべき事柄に優先的に取り組んでいることがうかがえる。

保育と小児医療が密接に連携協働する仕組み作りに取り組んでいる

医療法人が運営する保育園であり、小児医療保健の立場から保育現場の諸問題を解決することを目標の1つに揚げて園運営に取り組んでいる。法人として、「認可保育園 ARINKOMURA」「那珂キッズクリニック小児科」「病児の保育“しろやぎさんのポシェット”」の3事業を一体として運営しており、保育と小児医療が密接に連携協働することにより、子どもにとってより安心で安全、より健康的、より良い保育のあり方を地域に提案することを目指している。

◇改善を求められる点

保護者との信頼関係をさらに維持・向上させることが求められる

「連絡帳を記入しないで出すと空欄で帰ってくるので、子どもの園での様子などが分からない」、「毎日の活動内容を知らせて欲しい」と、連絡帳に関する保護者要望が散見されている。登降園時に口頭での密なコミュニケーションを取るよう努めてはいるが、限界もあり、「誰もいなくて話が出来ない」というアンケート結果もある。コロナ禍の下でも、連絡帳は大事なコミュニケーションツールの一つである。改善・工夫をし、保護者などとのコミュニケーションを強化して信頼関係を維持・向上させることが求められる。

地域の子育て支援事業を充実させることを目指している

2011年12月から、当初は私立の認可外保育施設として事業をはじめ、2020年4月から医療法人社団どんぐり会が運営する「認可保育園 ARINKOMURA」として再スタートを図り、2年目を迎えたに過ぎない保育園であり、円滑に開業を迎え安定した運営を早期に定着されることを目的として取り組んできた。今後は認可保育園として園の機能を地域の子育て家庭で還元する取り組みを充実させることが期待される。各種の園行事などを地域に知らせたり、地域の関係機関や保育園などに情報提供を充実させたりすることも望まれる。さらに、広報活動を充実させたり、独自の地域交流を実施したりすることも期待される。

個人情報の記載がある書類の管理基準を明確にすることを検討されたい

個人情報の取り扱いについては、入園時に文書で詳細に説明している。内容は「個人情報の利用目的」「第三者への提供について」など項目ごとに丁寧に説明しており、同意書に署名捺印を依頼している。また、外部への情報提供については、事前に必ず保護者に同意を得ることとしており、個人情報については慎重に扱っている。さらに、各種の記録をはじめ指導計画や議事録も含めて、個人情報の記載がある書類は、施錠できるような保管庫（場所）を設定することが望まれる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

2012年2月に認可外保育施設 ARINKOMURA として保育事業をはじめて以降、いずれかの時期に専門機関による外部評価を導入することをめざして、その実現の可能性を模索して参りました。2020年4月に認可を取得し、医療法人社団どんぐり会の一員として認可保育園事業を開始した際に、理事会にて、認可取得後2年以内（2021年度末まで）に茨城県の福祉サービス第三者評価を受審する方針を決め、この度、株式会社ケアシステムズ評価事務局による第三者評価を受審致しました。

認可外保育事業と認可保育事業では社会的ニーズが異なり、また、個々の利用者様が私共にお求めになれるサービス内容が異なって参ります。第三者評価によりこれを明らかにし、運営上の課題を抽出して、法人と全職員でその情報を共有することで、認可保育園 ARINKOMURAとして地域のニーズと時代のニーズに応えるために必要な問題解決型の思考ができる組織チームとして成長発展させていくことをめざしての受審でした。

折悪く、新型コロナウイルスの感染拡大の最中での認可保育園の立ち上げとなり、医療も保育も容易ならざる状況が続く中、様々に工夫・配慮を重ねて、子ども達の安心と安全を守り、安心して子どもを生み、育てることができる社会の実現に寄与することを目的として保育事業を行なって参りました。

医療法人社団どんぐり会的那珂キッズクリニック小児科は、小児救急医療と感染症領域を専門としている立場上、コロナ禍にあって、PCR検査をはじめとする診療検査医療機関としての役割や、新型コロナワクチンの基本接種医療機関として医師 1 名の診療所でありながら市内最大規模のべ約 12000 件の接種を担当するなど、開設以来の多忙を極めました。看護師資格を有する認可保育園園長と事務長も新型コロナウイルス関連の業務に忙殺される中、保育部門の職員も含めて法人を挙げての献身的な活動により 2021 年 11 月現在これらのミッションを無事に果たしていることは私たちの誇りではありますが、結果、受審に際して審査ご担当者さまと理事長が直接にお目にかかる機会は得られず、また、コロナ禍のため実際の受審もリモートで行なわれることとなったことは残念でした。私たちが従事しております保育は、現場の温もりと、匂いと、風の流れの小さな変化を肌で五感で感じ取り、それを見極め見定めながら行うお仕事です。次回受審の際には、是非、五感でご審査いただけることを切に願っております。

いただきました評価結果の中で具体的に改善をご提起いただきましたいくつかの事項は現場にて直ちに改めさせていただきました。私ども医療法人社団どんぐり会は、これらの受審結果をもとに更なる保育福祉サービスの質の向上に努めて参ります。

今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）